
星降る夜の街へ

白熊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

星降る夜の街へ

【Nコード】

N7066A

【作者名】

白熊

【あらすじ】

何にも熱中できず、ただ日々をダラダラ過ごしていた岬は、高校2年の夏休みに事故を起こし入院してしまう。その入院先の病院で一人の少女出会う。短い寿命を精一杯生きる彼女の姿に、自分の生きる意味と未来への不安を考え始める。

ブローグ

《帰郷》

忘れられない経験というのは、誰しも経験するのだろう。

そういう経験を私もした。

今でも鮮明に思い出せる。あの暑い夏の思い出。

しかし、肝心な記憶は陽炎のように、曖昧なまま頭を過ぎる。

それでも、この肌が覚えている。

物語は心に刻み込まれている。

抜けるようなあの、冴え渡った青い空、そこに聳え立つ双子山、

あの焼けるような真っ赤な夕暮れと、

真っ暗な夜空へ宝石をばら撒いたような星星の光。

そして、あの少女の優しい空っぽの笑顔。

そんな思いを馳せて、私は戻ってきた、あの日と同じ、夏の暑い日。

彼女に一輪の花と、約束を届けるために…。

プロローグ（後書き）

初めて小説を書いた白熊です。最後まで見て頂き、感謝の極みです。週一更新を目標に、書いていくつもりですので、暇がありましたら、覗いてやってください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7066a/>

星降る夜の街へ

2010年11月22日20時05分発行